



長月(ながつき)

9月というと秋を連想させますが、近年はまだまだ暑い日が続きます。残暑というより、夏真っ盛りといった感じさえします。しかし、昔から「秋の夜長」という言葉があるように、秋になると少しずつ日中よりも夜の時間が長くなります。その「夜長月」から「長月」になったといわれています。

また、空が澄み渡り高く見え、夜になると名月が輝きを放つのも9月です。日本では、太古の昔から月を神聖視していたようです。十五夜ではありませんが、縄文時代には月を愛でる風習があったといわれています。ゆっくり月を見る余裕がないかもしれませんが、夜空を眺めながら深呼吸するだけで贅沢な時間になるかもしれません。

「明けたかと思ふ 夜長の 月明り」
夏目 漱石



【子ども科学館教室】 フラットおおむら5階

- 5日(土) 10:00~12:00 ⇒折り紙教室
- 6日(日) 10:00~12:00 ⇒押し花教室
- 12日(土) 10:00~12:00 ⇒プラネタリウム教室
- 13日(日) 10:00~12:00 ⇒木工教室
※小学4年生以上 先着 10名
- 19日(土) 10:00~12:00 ⇒竹細工教室(4年以上)
- 20日(日) 10:00~12:00 ⇒バルーンアート教室
- 26日(土) 10:00~12:00 ⇒科学実験・工作教室
14:00~16:00 ⇒科学工作教室
- 27日(日) 10:00~12:00 ⇒子ども映画会



* 問合せ: 社会教育課

☎54-3161

9月の歳時記

「花薄 風のもつれは 風が解く」 福田 蓼汀



9月7日「白露」

二十四節気のひとつです。草木や木に朝露がつくのは、湿気を含んだ空気が冷気にふれて水滴となるからです。朝晩の気温が低くなっている証拠で、夏から秋への変り目です。おりた露は光り、白い粒のように見えます。「露がおりると晴れ」という言葉があり、朝露は1日の天気を伝えてくれます。



9月20日「空の日」

空の日の始まりは、1940年に制定された航空日で、その年は日本で最初の動力飛行が披露されてから30周年にあたる年でした。その後、航空日は第2次世界大戦に伴って一時休止されたものの、1953年に再開されました。そして、1992年(平成4年)に、より親しみやすいように「空の日」というネーミングになりました。

9月20日~30日は、「空の旬間」となっています。



9月21日「敬老の日」

敬老の日は、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨として国民の祝日に制定されています。



【長寿祝い(贈り物に良いとされる色)】

- 61歳(満60歳) 還暦【赤色】**
⇒干支が一回りして生まれ年の干支に戻るので、「暦が還る」から還暦
- 70歳 古希【紫色】**⇒めったにないほど長生きしたという意味から
- 77歳 喜寿【紫色】**⇒「喜」の草書体が七十七と読めるから
- 80歳 傘寿【黄色や金色】**⇒「傘」の字を略すと八十と読めるから
- 88歳 米寿【黄色や金色】**⇒「米」を分解すると八十八と読めるから
縁起がいい八が二つも重なるので、とてもおめでたいとされる
- 90歳 卒寿【白色や紫色】**⇒「卒」の略字「夨」が九十とよめるから
- 99歳 白寿【白色】**⇒「百」から一を引くと「白」になるから
- 100歳 百寿【白色や桃色】**⇒百歳のお祝いという意味
紀(一世紀)寿ともいう

9月22日「秋分の日」

二十四節気のひとつです。春分と同様、昼と夜の長さが等しいとされています。秋の彼岸の中日です。

放課後子ども教室・OMURA未来塾

社会教育課の重点目標に、「地域の多様な人材の参画を得て、放課後子ども教室及びOMURA未来塾の充実を図る。」ことを掲げています。

【放課後子ども教室の趣旨・目的】

- 児童が放課後、学習をはじめとした多様な活動を行い、安全・安心で充実した時間を過ごす。
- 学校関係者と地域住民(放課後子ども教室関係者・指導者)とが連携して、同じ学校に通う児童の健やかな成長のため、様々な活動に取り組む。

【OMURA未来塾の目的】

- 中学生に対して、放課後、地域住民等の協力による学習支援を実施することにより、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るとともに、これらを通じて「大村の子どもは大村で育てる」という理念を実現する。
- ※市内小学校 7 校(今年度新設 1 校)・中学校2校(今年度新設 1 校)で開講し、事業の充実を図っています。

秋の七草 豆知識









春の七草はお粥に入れて無病息災を願うものですが、**秋の七草**は食べるのではなく観賞用として親しまれています。由来は古く、「万葉集」に「七種(ななくさ)」などとして収められています。

萩はまさに秋を代表する花。紅紫色をよく見かけますが、ピンクや白の花もあります。尾花はススキのことで、お月見に欠かせません。葛は葛湯や葛切りなど昔から食用にもなりました。撫子は可憐で美しい花。女郎花は黄色の小さい花が集まって咲きます。このほか藤袴と桔梗があります。秋には多くの花が咲き、秋草が咲き乱れる野という意味の「花野」という季語があります。春の季語「花」が、華やかな桜を指すのに対し、秋の「花野」は、秋の草花が一面に咲き乱れる野原の様子ということになります。その中の代表的なものが秋の七草なのです。



お好きな服は？

秋の七草は「お好きな服は」で覚えることができます。

お…おみなえし	す…すすき	き…ききょう	な…なでしこ
			
ふ…ふじばかま	く…くず	は…はぎ	
			

9月の補導巡視活動

地区名	集合場所	日程①	日程②	時刻
西大村	西大村小学校	9月 3日(木)	9月17日(木)	19:30
中央	旧中地区公民館	9月10日(木)	9月25日(金)	19:30
放虎原	放虎原小学校	9月10日(木)	9月24日(木)	19:00
三城	市民交流プラザ	9月12日(土)	9月26日(土)	①17:00 ②19:00

☆愛の声かけ・巡回活動ありがとうございます☆



発行：社会教育課

☎54-3161

(市コミセン内)